

横浜市認定歴史的建造物  
『旧横浜銀行本店別館  
(元第一銀行横浜支店)』  
保全活用計画

## 1 歴史的建造物の概要

(1) 名 称	旧横浜銀行本店別館 (元第一銀行横浜支店)
(2) 所在地	横浜市中区本町6-50-1 (旧所在地: 本町5-46)
(3) 建築年	平成15年移築復元一部曳家 創建: 昭和4(1929)年
(4) 設計者	都市基盤整備公団神奈川地域支社 (株) 楨総合計画事務所 創建時: 西村好時 合資会社清水組設計部 (小笹徳蔵)
(5) 施工者	竹中・清水・戸田JV 創建時: 合資会社清水組 (現: 清水建設株式会社)
(6) 構造・規模	鉄筋コンクリート造3階建地下2階塔屋1階 創建時: 鉄筋コンクリート造3階建地下1階塔屋1階
(7) 建築(床)面積	2,064.45㎡ (専有床面積) 創建時: 延床面積 1,914㎡
(8) 敷地面積	3,840.76㎡ (第1工区面積)
(9) 外壁仕上	花崗岩貼り 曳家部一部富国石 (人造グラニット) 貼り 創建時: 花崗岩及び富国石 (人造グラニット) 貼り
(10) 屋根	陸屋根
(11) 台帳登録	平成2年3月

## 2 沿革

第一銀行横浜支店は、その前身第一国立銀行横浜支店が明治6年(1873)に開設されて以来の歴史がある。

第一国立銀行横浜支店は、明治7年(1874)に二代目清水喜助により建てられた。銅版画によれば、寄棟瓦葺2階建てで石造風の主屋が2棟、道路に沿って配置され、内庭側を正面としていたものと予想される。明治22年(1889)には二代目、明治44年(1911)には三代目へと煉瓦造で建て替えられたが、その間、明治29年(1896)9月には営業満期に達し普通銀行へと転換して第一銀行横浜支店となった。

三代目の建物が関東大震災により焼失した後、昭和4年(1929)に四代目の支店建築が復興されたが、第一銀行横浜支店はその後、日本債券信用銀行横浜支店を経て横浜銀行本店別館となった。しかし、建物位置が都市計画道路・栄本町線予定地内となり、現位置での保全活用は困難となったため、平成2年(1990)11月に都市計画決定された「北仲通南地区第二種市街地再開発事業」(施行者: 都市基盤整備公団)の区域内での保全活用が検討された。

平成3年(1991)3月の第5回横浜市歴史的景観保全委員全員協議会において

専門部会（部会長：村松貞次郎東京大学名誉教授）が設置され、検討を重ねた結果、この建物の特徴である先端バルコニー部分を中心に部分的に曳家し、他は健全な材料を使用して復元保存を図るのが妥当であるという結論に達した。

この検討結果をうけて、平成7年(1995)2月には、本町通りと馬車道が交差する旧敷地から隣接再開発事業用地へと曳家工事が行われた。平成12年(2000)3月に着手された第1工区・横浜アイランドタワーの建築工事により、高層棟と曳家部分をつなぐ形で旧建物の外観が復元され、平成15年(2003)2月に本町通りと栄本町線の交差する新しい場所に美しい姿が蘇った。

### 3 歴史的建造物としての価値

#### (1) 建築史的価値

日本近代様式建築完成期の作品で、三角形の敷地を巧みに生かし、先端にトスカナ式オーダーの列柱を並べた半円形のバルコニーを持つ特色ある建築である。震災復興期の典型的な銀行建築であり、正統的な古典主義様式建築の佳品。

創建時の建物は、銀行建築のスペシャリストとして名高い、横浜ゆかりの建築家、西村好時の代表作でもある。また、創建当時の図面も残っており、資料的価値も高い。

#### (2) 歴史的価値

本町通りから馬車道にかけての一帯は、戦前の横浜金融界の中心地であった。旧横浜銀行本店別館は、もとの位置から移動したとはいえ、周辺の旧横浜正金銀行本店本館、日本興亜馬車道ビル（旧川崎銀行横浜支店）、旧富士銀行横浜支店、旧東京三菱銀行横浜中央支店、横浜銀行協会などとともに横浜の戦前金融界の歴史を目に見えるものとして体現している貴重な存在である。

#### (3) 景観的価値

これまで本町通りと馬車道が交差する敷地に建ち、重要なランドマークとなってきた。栄本町線の整備により新たに生まれた交差点に面した三角地に移転したが、周辺には旧横浜正金銀行本店本館、日本興亜馬車道ビル（旧川崎銀行横浜支店）、旧富士銀行横浜支店、馬車道大津ビル、横浜第2合同庁舎（旧生糸検査所）など、横浜でも近代建築が集積して歴史的景観を形成している地区であり、その一翼を担う重要な建物である。

### 4 保全の方向性

#### (1) 保全の方針

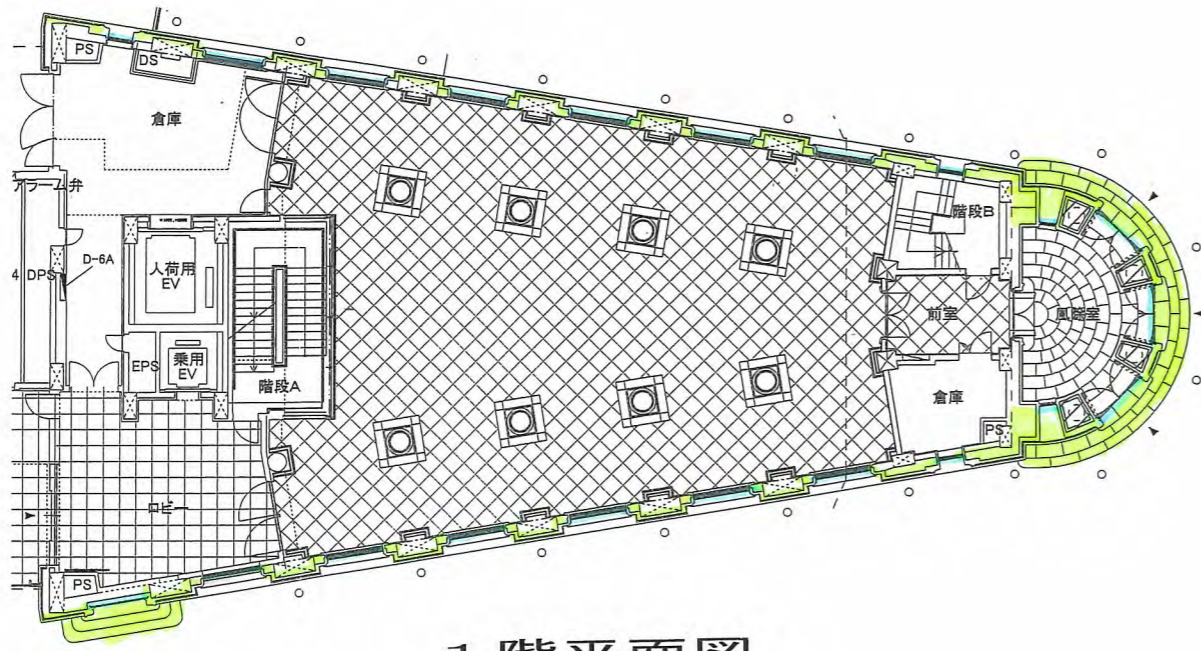
曳家及び復元された外観の保全を図る。特に曳家により構造体を含め保存された先端バルコニー部分など、特徴的な外部意匠を維持していく。

(2) 保全すべき部位とその概要

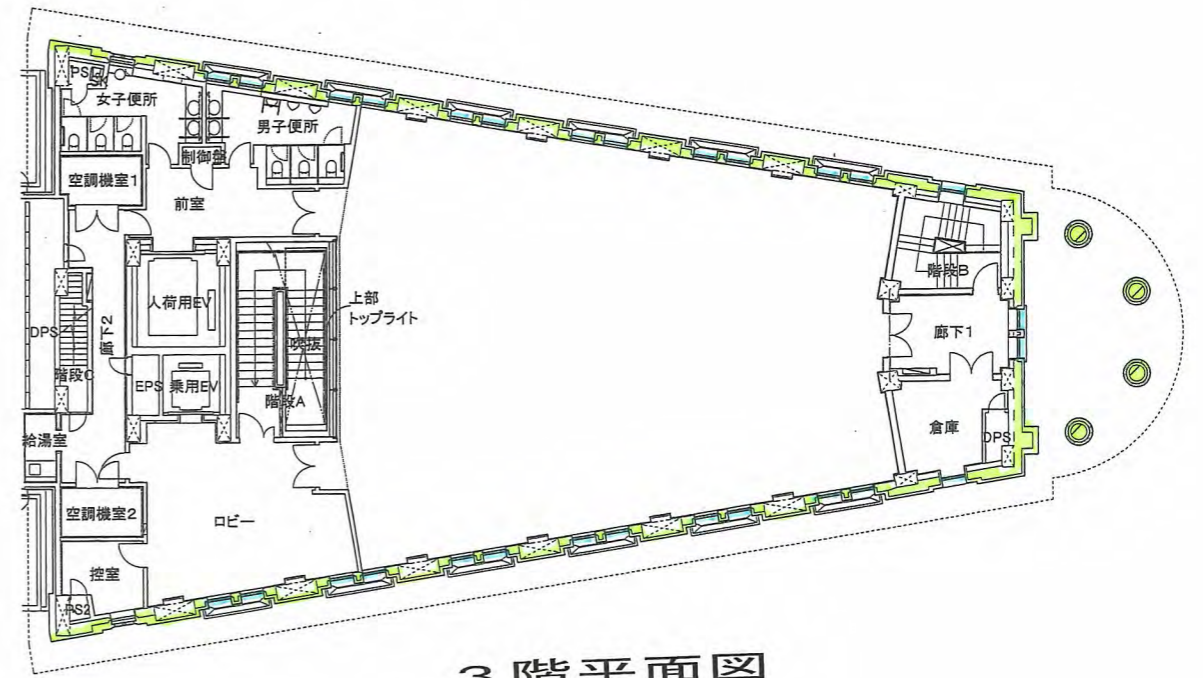
部 位	材料仕上等	色 彩	備 考
外壁(3面)		グレー系	指定図による
曳家部分	コーニス：GRCにて形状復元 正面玄関・バルコニー及び腰壁 ：花崗岩保存 バルコニー背面及び南側1階壁 ：人造グラニット保存 その他：花崗岩新設		
復元部分	GRC及び花崗岩新設		
開口部		ブラウン系	指定図による
曳家部分	正面玄関：扉復元・扉飾り保存 その他：形態復元		
復元部分	南側玄関：鋼製建具保存 その他：形態復元		

5 関係図面等

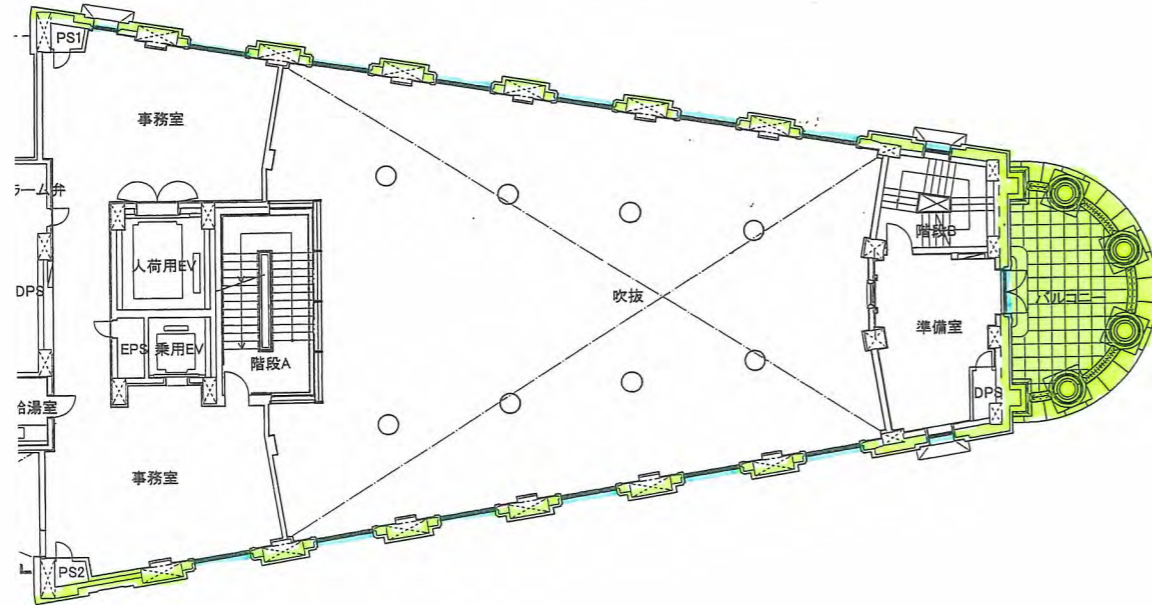
- (1) 保全部位指定図(案内図、配置図、平面図、立面図)
- (2) 現況写真



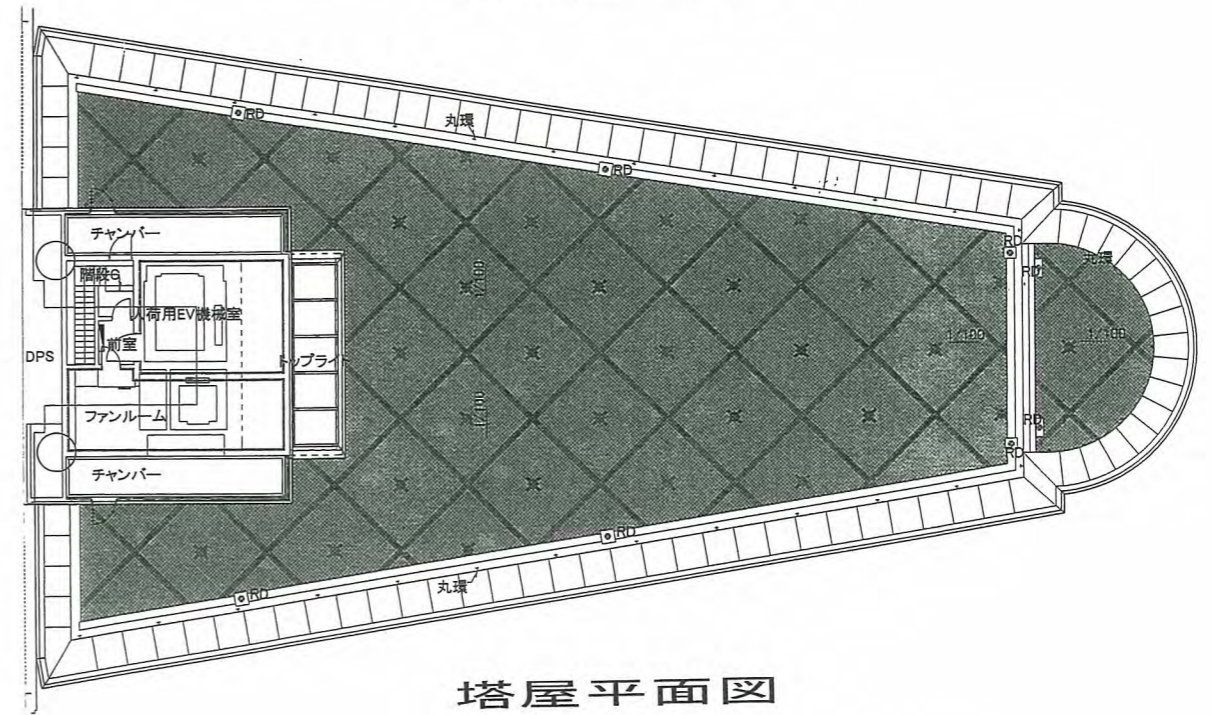
1 階平面図



3 階平面図



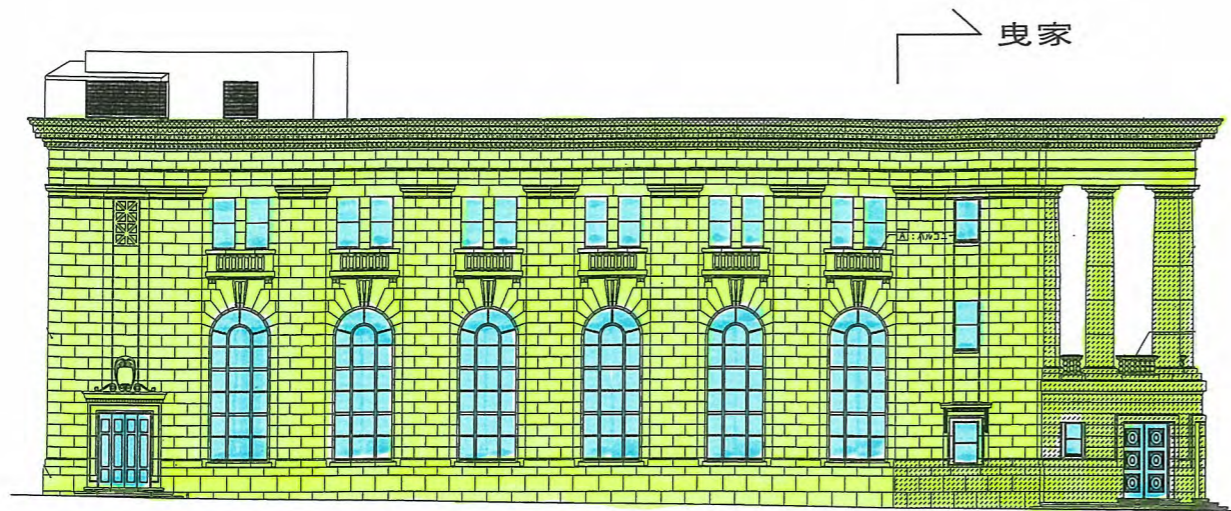
2 階平面図



塔屋平面図

保全すべき部位とその概要

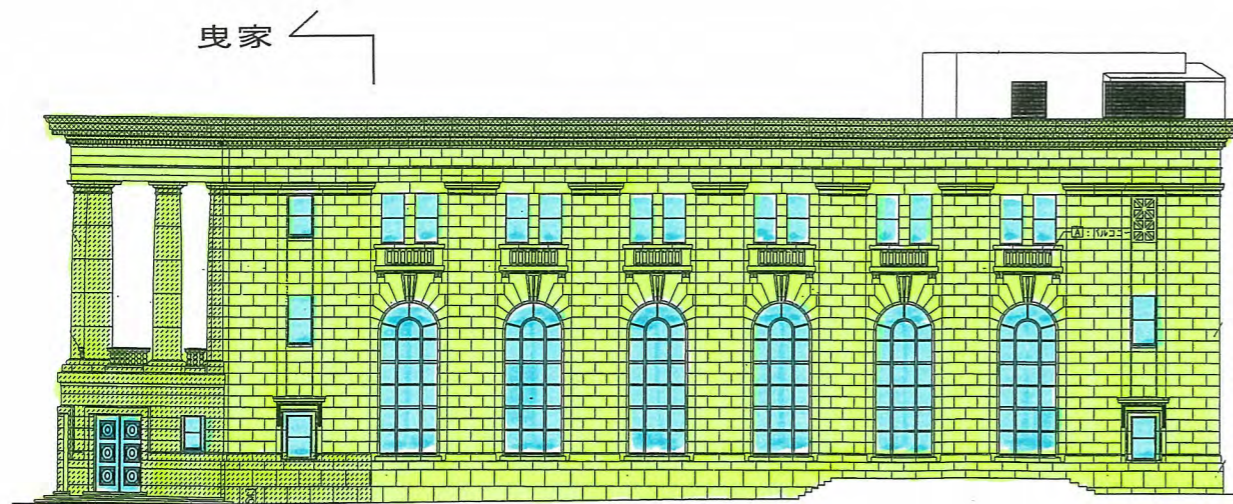
部位	材料仕上等	色彩
外壁 (3面)		グレー系
曳家部分	コーニス：GRCにて形状復元 正面玄関・バルコニー及び腰壁 ：花崗岩保存 バルコニー背面及び南側1階壁 ：人造グラニット保存 その他：花崗岩新設	
復元部分	GRC及び花崗岩新設	
開口部		ブラウン系
曳家部分	正面玄関：扉復元・扉飾り保存 その他：形態復元	
復元部分	南側玄関：鋼製建具保存 その他：形態復元	



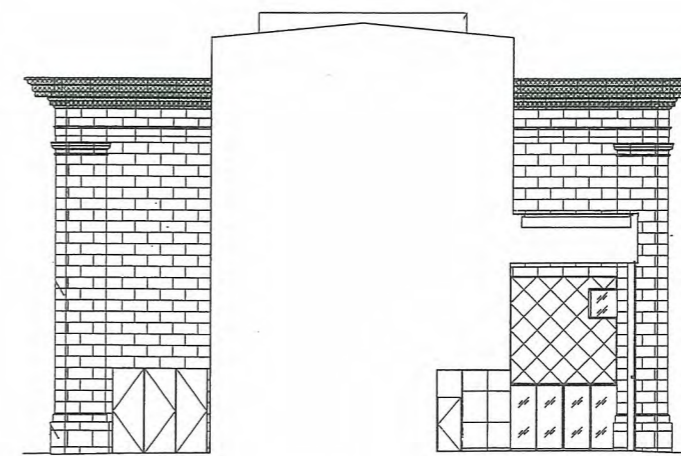
南側立面図



東側立面図



北側立面図



西側立面図

保全すべき部位とその概要

部 位	材料仕上等	色 彩
外壁 (3面)		グレー系
曳家部分	コーニス : GRCにて形状復元 正面玄関・バルコニー及び腰壁 : 花崗岩保存 バルコニー背面及び南側1階壁 : 人造グラニット保存 その他 : 花崗岩新設	
復元部分	GRC及び花崗岩新設	
開口部		ブラウン系
曳家部分	正面玄関 : 扉復元・扉飾り保存 その他 : 形態復元	
復元部分	南側玄関 : 鋼製建具保存 その他 : 形態復元	